



喜怒哀楽

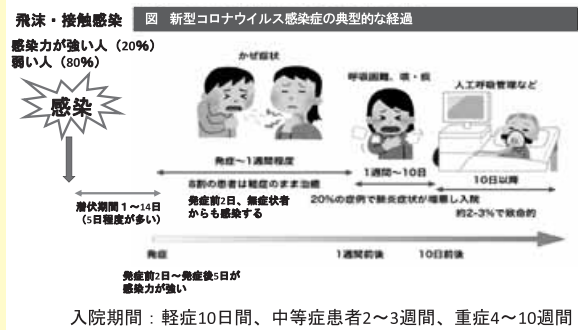
K I D O A I R A K U

●発行 高知県介護福祉士会
 ●編集 広報委員会
 ●事務局 〒780-8567
 高知市朝倉戊375-1
 高知県社会福祉協議会内
 T E L 088-844-4611
 F A X 088-844-9443
 ●URL <http://kaigo-kochi.jp/>

新型コロナウイルス感染症 — 介護福祉施設ではどうする —

土佐希望の家医療福祉センター 施設長 吉川 清志

8月15日高知市の福祉施設で集団感染が確認されました。しっかりと感染防止対策をしていたこの施設での集団感染に私たちは衝撃を受けましたが、その後の感染拡大がないのは日頃の対策の効果とも考えられます。新型コロナウイルスは飛沫感染・接触感染し、潜伏期間が1～14日(5日程度が多い)と長く、発症前2日間にも感染し、無症状の感染者もいるため、感染防止が大変難しいウイルスです。(図)



利用者である高齢者や基礎疾患をもつ人は重症化しやすいので、介護福祉施設での新型コロナウイルス感染防止の第一は、本誌第44号で土居会長が述べられているように、職員が感染しない(持ち込まない)ことです。職員は日頃から手洗いを励行し、必要な場面ではマスクを着用し、施設外では密閉空間、密集場所、密接場面の3密を避けて下さい。特に、近距離で長時間話す密接場面での感染リスクが高いので要注意です。規則正しい生活(睡眠・食事)、適度な運動、過労を避けることは、私の経験上免疫力を低下させないためにとっても大切です。第二は、熱、咳、倦怠感などがあり体調が悪ければ、無理せず仕事を休んで下さい。休める組織風土も大切です。通常の風邪なら数日で改善しますが、症状が続く場合は新型コロナウイルス相談センター(088-823-9300)に相談するか、かかりつけ医や近医に電話連絡後受診して下さい。難しいことは承知していますが、施設内では可能な限り利用者間(1～2m以上の距離)、利用者と職員間(職員のマスク着用、1接触2手洗い・消毒)、職員間(食事時の会話)、面会時等の感染防止に努めてください。感染を拡大させないためには、感冒症状がある入所者は隔離し、症状が続いたり発熱患者が複数発生した時には、早めにPCR検査できる体制を検討しておいて下さい。

解決できない問題は山積していますが、厚生労働省のマニュアルや対応策等を参考にして、各施設で可能な対策を準備して下さい。感染者が発生した場合は、保健所や行政の支援を受け、職員が一致団結して立ち向かわねばなりません。

東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内

良質な睡眠は、健康で充実した
毎日を過ごす基本です！

◆こんなお悩みはありませんか？

- 夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- 寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- 睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーを開催し、職場の問題解決のお手伝いをさせていただいております。

TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社 愛媛営業所
 〒791-1114 愛媛県松山市井門町 21-1 www.toyoumo.co.jp

お気軽にお問い合わせください ☎ 0120-233107

施設の新型コロナウイルス感染症対策 ～高知ハビリテーリングセンター～

高知ハビリテーリングセンターは、障害があっても自分らしい生活を送ることができるよう、様々なサービスを提供する多機能型の障害者施設です。生活の場としては施設入所にグループホーム、日中活動の場としては自立訓練、就労継続支援B型、就労移行に放課後等デイサービス等もあり、日々老若男女のご利用者が活動されています。

新型コロナウイルス対策には、施設内で生活されている方はもちろん、ご自宅から送迎バスを利用して通所される方もたくさんいますので非常に苦慮しております。具体的には、当初より以下の3点を中心に対応しています。

①基本的な感染症対策の徹底

厚生労働省から発令されたガイドラインに沿った運用（手洗いの励行、マスク着用、共有スペースアルコール噴霧器の設置等）

②環境整備の徹底

ドアノブ、手すり等の定期的な拭き掃除

三密を避け、職員室、訓練室、作業場での常時換気の励行

面会制限（受付での名簿記入、体温チェック、マスク着用後に面会室にて面会）

外出制限（マスク着用、届け出提出、短時間、三密回避のお願い）

③体調管理の徹底

利用者には日々のバイタルチェックを徹底し、37.5℃以上であれば利用を中止して病院受診を促す職員（家族も含む）も同様で、状況によっては一定期間の自宅待機

訓練室や作業場では、それぞれの環境に合わせた対応（シールドを貼る、アクリル板の設置、座席の位置を変える等）を行っています。あまり変化を望まない方が多く、ご利用者も職員も疲労困憊しておりますが、感染を未然に防ぐため日々の努力を継続しています。



正面玄関の自動ドア



受付



軽作業（前面、側面に透明フィルム）



パソコン訓練（前面に透明のアクリル板）

広報委員（理事） 福西 利孝

夢にときめけ 明日にきらめけ Let's Working !

職員大募集



社会福祉法人ファミリーユ高知
高知ハビリテーリングセンター
高知県高知市春野町内ノ谷 63 番地 6
TEL 088-842-1921
担当 中山

《コロナ感染症予防対策 白山荘バージョン》

ケアハウス白山荘 事務長 山下 美恵

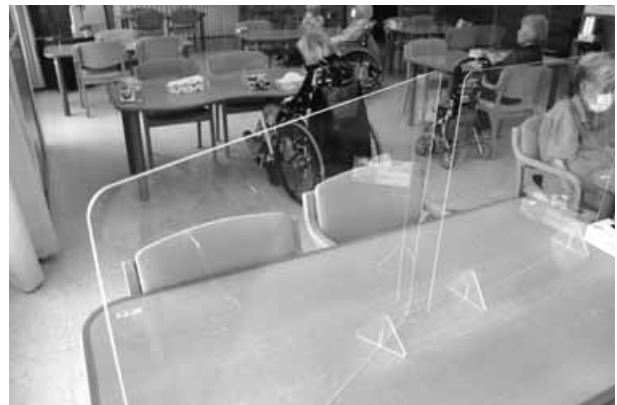
全国では新型コロナウイルス感染症が今もなお感染拡大しています。

当施設ではご入居者と全職員の安全確保を最優先に、四国で初めて新型コロナウイルス感染の陽性が確認された翌日の2月26日、感染防止委員会メンバーを中心に、感染予防既存マニュアルの確認を並行しつつ感染リスクを避けるための対策を協議、取組みを開始しました。まず、検温（職員は出勤前）やマスク着用、手洗い・うがい、アルコール消毒等基本的な感染予防対策の周知徹底、面会制限、行事等を中止としましたが、時間をかけ協議をしたのは食事環境でした。出来る限り“集団”を防ぐために1・3・6階のエレベーター前談話ホールに食事環境を整備、配下膳用の配膳車も新規購入し、ビニールシートでの飛沫感染防止対策（職員の手作りです）を行ない、50名のご入居者を3グループに割り振り各階へ分散したかたちで、密を防ぐ生活の場づくりに努めました。当初は慣れない環境でスムーズにいかないこともありましたが、ご入居者には説明の上ご理解を得たことで大きな混乱もなく、また、誘導時間の短縮や個別対応の充実等プラス面の発見もありました。ただその反面、談話ホールは狭く閉鎖的に感じる、食堂に戻りたい等ご入居者からの意見、各階に分散する職員間の情報共有などの課題にも直面し、対策の再考を重ね、県内の感染状況もふまえた上で8月より食事の場を食堂に戻しています。課題となっていた職員の情報共有についてもインカムを試験導入し、指示や確認に有効活用が出来ており9月に導入予定です。

ご家族等との面会制限（緩和時期等）や職員・ご入居者が発症した場合の対応など課題は山積ですが、行政指導や他施設での取り組み等参考にしながら、今後も全職員で協力し感染対策の継続を行なっていきたいと思っております。



ビニールシートでの飛散防止対策



8月からは食堂にパーテーションを設置して飛散防止対策

介護・福祉用具の販売・レンタルの事なら、お任せ下さい！

alfresa アルフレッサ篠原化学株式会社

シルバー事業部 高知市南御座9-41（展示場）

TEL088-882-5000 <http://www.e-shinohara.co.jp>

デイステーションりんくすでのコロナ対策について

デイステーションりんくす 介護職員 山中由美子

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大における状況は、どの介護・医療現場においても感染対策に頭を悩ましているところと思います。当事業所においても緊急事態宣言が発出された当日、感染対策を強化して運営していました。職員については出勤前、午後の2回検温実施と項目に従った症状有無の確認、手洗い・手指衛生の強化、送迎車内の除菌を徹底しました。その他では換気の徹底、リハビリ時の機械使用ごとに手指衛生、福祉用具の除菌等も行いました。また外部の方が事業所に来所した場合は体温測定実施、そして他部署の職員は原則デイご利用者と接触しないという不特定多数との接触を最小限にするようにしました。上記の内容はご利用者やご家族にも文書でお知らせし、できるだけ不安を抱かずにご利用してもらえよう配慮いたしました。

そのなかでも当事業所がコロナ感染拡大以前の開設当時から導入している機器があります。それは「ブーキープロケア」という衛生管理用の液体導入です。液体を所定の噴霧器とボトルで使用するものです。この液体は、ノロ、インフルエンザ、MRSA、O-157等の感染経路をシャットアウトし、誤飲しても体に影響がないという特色がある製品で、噴霧器1台で50畳分は網羅できるということです。コロナウイルスに対応する効果は確定ではないものの、感染対策として活用を続けています。



現在は上記の感染対策を弾力的に縮小したうえで継続してはいますが、第2波もいずれ訪れるであろうこの状態で、各事業所もその状況に応じた判断が今後も求められると考えます。私たち職員は基本である「こまめな手洗い・うがい」を徹底し、見えないウイルスとの闘いにおいて冷静に「正しく恐れる」ことを頭に置いて従事していくことが求められていると感じています。

編集後記

コロナ対策と並行して熱中症にも留意しなければならない中、皆さん体調は崩されていませんか？日々の仕事や生活の中で精神面の安定もはかれていますでしょうか？私達の心身の健康があってこそ、ご利用者の安心安全な生活があると最近特に思います。今は先も見えず苦しい事が多いと思いますが、引き続き三密を避ける事や手洗いやマスクをして、一方で趣味を楽しんだりおいしいものを食べたりしてリフレッシュもしながら現状を乗り越えていきましょう。

私達、介護福祉士会も皆さんのプラスになる様な情報を発信していきたいと思っています。

広報委員(理事) 田中 甫味

ISO27001 認証取得企業

社会保険労務士法人

久万田社会保険労務士事務所

〒780-0033 高知県高知市西秦泉寺 377-1
TEL 088-803-5353 FAX 088-803-5373